

## 目 次

第3版はしがき  
 第2版はしがき  
 はしがき

## 第Ⅰ編 社会保障法の理念と構造

第1章	社会保障法とは何か	3
1	社会保障の定義	3
2	社会保障法の体系	8
3	社会保障法の法源	10
4	基本的人権と社会保障	12
5	社会保障の権利と義務——通則的事項	17
第2章	社会保障の組織と財政	28
1	社会保障の組織	28
2	社会保障の財政	31
第3章	社会保障の権利擁護と救済	38
1	社会保障における権利保障の手續と権利擁護・権利救済	38
2	権利擁護	38
3	権利救済	40

## 第Ⅱ編 社会保障法の諸相

第4章	医療保障法	47
1	医療保障の概要	47
2	医療保険の体系——被用者保険と地域保険	55
3	医療保険の給付	61
4	保険診療の仕組み	67
5	高齢者医療制度	71

6 医療保障法の課題 75

第5章 介護保険法 80

1 介護保険法制定の背景と沿革 80  
2 介護保険法 83  
3 今後の課題 107

第6章 年金法 114

1 公的年金の意義と沿革 114  
2 年金給付の種類と特色 118  
3 年金財政 123  
4 国民年金（基礎年金） 125  
5 厚生年金 130  
6 共済年金 136  
7 公的年金制度の課題 137  
8 私的年金法 138

第7章 雇用保険法 148

1 雇用保障の意義と体系 148  
2 雇用保険法 150  
3 雇用保険の課題 163

第8章 労災保険法 166

1 労働災害の現状と労災保険制度の意義 166  
2 労災保険制度の構造と特徴 167  
3 労災認定基準をめぐる法的問題 174  
4 労災保険と他の制度との関係 180  
5 労災保険制度の将来像 183

第9章 社会手当法 185

1 社会手当の意義と体系 185  
2 児童（の養育）に関する社会手当 186  
3 障害児・者に対する社会手当 199

<b>第10章</b>	<b>福祉サービス法</b>	204
1	福祉サービス法の体系と法律関係	204
2	福祉サービス給付の利用者と福祉行政機関	206
3	福祉サービス給付の範囲と手続き	211
4	福祉サービスの提供体制の確保	224
5	福祉サービスの利用者負担と財政	228
6	これからの課題と展望	230

<b>第11章</b>	<b>公的扶助法</b>	232
1	現代の貧困と生活保護法	232
2	生活保護法の原理	235
3	保護の種類と方法	242
4	保護の実施手続	244
5	生活保護の行政組織と財政	251
6	保護受給者の権利と義務および権利救済手続	253

### 第Ⅲ編 現代的課題と国際化

<b>第12章</b>	<b>社会保障の歴史と現在</b>	259
1	社会保障の歴史的展開	259
2	社会保障の現代的課題	266
<b>第13章</b>	<b>国際化と社会保障</b>	280
1	「国際化と社会保障」の意味と諸相	280
2	社会保障制度の各国固有性と普遍性	283
3	外国人に対する社会保障の適用問題	287
4	保険料の二重負担や掛け捨ての問題と社会保障協定	292
5	社会保障の国際化	297

判例索引

事項索引